

「子どもの社会参画のよりどころとなる指針」改訂案について
 (「R6.2.16 懇談会での意見を踏まえた改訂案」へのご意見と修正案)

R6.2.16 懇談会_改訂案 (水色)

R7.12.9 時点_改訂案 (黄色)

R7.12.9 時点_改訂案へのご意見を踏まえた修正案 (緑色)

ページ	該当の記載	ご意見	修正案
P4	<p><2つ目の○後段> 「こども施策」とは、①こどもに関する施策と②一体的に講ずべき施策⁵からなります。つまり、主目的がこどもの健やかな成長に対する支援等である施策だけでなく、こども・若者・子育て家庭が関係する幅広い施策が含まれることとなります。</p>	<p>「一体的に講ずべき施策」の説明が、やや限定的な印象があります。「こども施策=子ども担当部署の施策」という誤解を防ぎ、全庁的責務であることを強調した方がよいと考えます。</p>	<p><2つ目の○後段の記載を修正> 「こども施策」とは、①こどもに関する施策と②一体的に講ずべき施策 からなります。つまり、主目的がこどもの健やかな成長に対する支援等である施策だけでなく、こども・若者・子育て家庭が関係する教育施策や雇用施策、医療施策など幅広い施策が含まれることとなります。</p>
P9	<p><1つ目の○> ○子どもに意見を聞いたら、子どもの意見を採用する(できる)、しない(できない)を含めて丁寧に検討し、子どもの意見をどのように扱ったのかを丁寧にフィードバックし、子ども自身に意見が尊重されているということを理解してもらうことが大切です。 自分の意見が採用された場合も、採用されなかった場合も、自分の意見がどのように検討され、社会に影響を与えたかを知ることで、社会参画の意識が高まり、次の意見表明へとつながります。</p>	<p>子どもの意見を反映することが難しい場合に参画の取り組みに消極的になることが考えられるため、反映できない理由を例示してはどうか。(法令上不可能、安全・人権上の制約、財政・時間的制約など)</p>	<p><1つ目の○に記載を追加> ○子どもに意見を聞いたら、子どもの意見を採用する(できる)、しない(できない)を含めて丁寧に検討し、子どもの意見をどのように扱ったのかを丁寧にフィードバックし、子ども自身に意見が尊重されているということを理解してもらうことが大切です。 自分の意見が採用された場合も、採用されなかった場合(例えば、法令上実現が不可能な場合、安全・人権・財政上の制約がある場合など)も、自分の意見がどのように検討され、社会に影響を与えたかを知ることで、社会参画の意識が高まり、次の意見表明へとつながります。</p>

ハ°-ジ°	該当の記載	ご意見	修正案
		<p>また、大人に好ましい意見だけでなく、曖昧な意見、感情的・否定的な意見も正当な意見と扱う原則を明示すると良いと考えます。</p>	<p><P8 3つ目の○の次に○の記載を追加し、5つ目の○の記載を修正> ○また、大人にとって好ましい意見だけでなく、曖昧な意見、感情的・否定的な意見も正当な意見として取り扱うことが大切です。 ○また、子どもに対する丁寧な説明は、・・・</p>
P10	<p><2つ目の○> ○例えば、ニーズを把握する場面では、定量調査の手法としてアンケートを用いられることが多くあります。また、施策・事業の検討につなげていく場合には、対象を変えて複数の手法を組み合わせるなど、重層的に意見を聞くことも有効です。</p>	<p>アンケートの特徴として、意見を集めやすい一方で、「すべての子どもの意見表明を保障する」上での課題もあることを明示すべきかと考えます。「意見を聴いたこと」自体が目的化しないように、データを集めるだけでなく、なぜそのように思ったのかという感情・背景・理由などを考慮する必要性や、回答していない子どもの意見への配慮も大切だと考えます。</p>	<p><2つ目の○に記載を追加> ○例えば、ニーズを把握する場面では、定量調査の手法としてアンケートを用いられることが多くあります。一方で、アンケートでは把握しきれない子どもの意見を聞くためには、ワークショップ形式でアンケートの分析を行うなど他の手法を組み合わせると効果的です。また、施策・事業の検討につなげていく場合には、対象を変えて複数の手法を組み合わせるなど、重層的に意見を聞くことも有効です。</p>
の P28	<p>ワークショップ結果</p>	<p>ワークショップでの子どもの意見は、そこに参加した子どもが、その場の状況において表明した意見であって、すべての子どもの意見を代表するものではないので、「ワークショップ結果」として掲載する際には丁寧な説明があった方がよいと考えます。</p>	<p><タイトルを修正> 「ワークショップ結果」 → 「ワークショップに参加した子どもの意見」 <P13 3つ目の○に記載を追加> ・ワークショップでの子どもの意見は、すべての子どもの意見を代表するものではないことに気を付けることが必要。</p>